

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月17日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401722		
法人名	医療法人社団 向仁会		
事業所名	グループホーム よろこびの家 菜景		
所在地	北海道函館市松陰町1番43号 (電話) 0138-32-7070		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月16日	評価確定日	平成22年3月5日

【情報提供票より】(平成22年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年2月22日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	13人, 非常勤 4人, 常勤換算 12.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,000円	その他の経費(月額)	15,000~25,000円
敷金	有() 無()		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無()	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 180円
	または1日当たり 1,330円		

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	2名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 83歳	最低	74歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	住慶クリニック(内科・外科)・函館中央病院(内科)・藤岡眼科病院 函館病院(歯科)・さこ歯科クリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の中心部の閑静な住宅地の中で近くには桜の名所「五稜郭公園」があり、自然と交通の利便性に優れた場所にあるホームです。人としての尊厳を大切にし、本人のペースにあわせ、「ゆったり」「いっしょに」「たのしく」をモットーにしています。チームケアを職員一丸となって推進し、スタッフ会議では、職員の思いや意見が開示され活発な意見交換が行われケアサービスの質の向上に取り組み、また、苦情については「苦情処理簿」を作成し、管理者・職員で原因究明と再発防止策が話し合われ、運営に活かされています。近隣の幼稚園児、高校生との交流やボランティアの受け入れなど、地域住民との取り組みも徐々に成果を挙げつつあります。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) スタッフ会議にて、自己評価・外部評価を年に1度実施する意義を話し合い、評価の結果を管理者を中心とし会議等で話し合い、職員全員がこの評価を理解し、チームケアに職員一丸となり取り組みがされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価について改善すべき点について管理者、職員で検討され組織運営に反映される取り組みが行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的実施され、主な議題は医療連携看護師による健康問題について薬の管理について敬老会開催について年間行事について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との信頼関係の構築に取り組み、来訪時には健康状態や受診の結果報告、日常生活の様子など伝え、遠方の方には郵送にて報告しています。要望や不安などを言い表せる機会を設けるように苦情相談窓口担当者を設置し苦情・不満等が聞かれた場合には、管理者を中心としスタッフ会議を行い原因究明と再発防止策を話し合っています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域とのふれあいを大切にし、日常生活での近隣での散歩では地域の人々への挨拶やホーム主催のバーベキュー、花火大会では地元の人々への参加の呼びかけ、地域の夏祭りへの参加・高校の庭の桜を見に行ったり地域との連携に取り組んでいます。また、幼稚園児の訪問で歌やお遊戯・マジックショーなどの地域ボランティアの受け入れなど地域との交流促進に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は、ホーム入り口、スタッフルームに掲示されており、「茉景」の色としての「ゆったり」「いっしょに」「たのしく」をモットーに取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、管理者と職員は共に共有し、毎朝、朝礼時に唱和して、その実践に向けて日々取り組み、新規採用職員には、理念の大切さと意味の理解に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の夏祭りに参加したり、高校の庭の桜を見に行ったり、ホーム主催のバーベキュー・花火大会には、地元の方々が参加してくれる等、地域との連携に取り組んでいる。また、敬老会等、地域との交流促進に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ会議にて、自己評価・外部評価を実施する意義を話し合い、評価の結果を管理者を中心とし、会議等で話し合い、職員全体がこの評価を理解できるよう、取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され議事録も備えられている。委員は、利用者家族、町内会長、地域住民、包括支援センター職員、函館市職員、及び管理者・職員で構成され、具体的課題について話し合わせ、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、行政や地域包括支援センターとの連携の重要性を理解し、グループホームブロック研修会や、ケアマネージャー会議等への参加等を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態や受診の結果報告については来訪時に報告しているが遠方の方には郵送にて報告している。「おたより」通信を定期的発行して、日常生活の様子やホーム行事参加の様子など報告している。また、状態変化時には随時電話で連絡して報告していると共に毎月金銭管理の収支報告や行事への参加案内を送付して呼びかけている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口担当者を設置し、苦情・不満等が聞かれた場合には、管理者を中心とし、スタッフ会議を行い原因究明と再発防止策を話し合っている。苦情処理簿を作成し職員全員で情報を共有し対応に当たっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者・職員の離職率は低く、入居者・家族の方との馴染みの関係が構築がされている。また、退職や異動の希望が出た場合、個人面談等で悩みなど聞き、やむをえない理由以外は、継続して貰うよう話し合いをし対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>道南地区のグループホーム連絡協議会や函館市、包括支援センター主催の研修会に参加し、終了後には報告書を作成し、ホーム内の勉強会にて報告し参加出来なかった職員と共有出来るようにしている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>函館市、包括支援センターやグループホーム協議会など、地域をブロックに分け、研修会や交流会を開催し、また、同一法人内の他施設との情報交換、同業者と連携を取り全職員が参加できる勉強会や意見交換の場を作り、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居される本人とご家族の方が必要としている支援を第一のサービスとし、状況を確認し、改善に向けての支援の提案等、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるよう心掛けている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者は、人生の先輩であるという考えを職員は共有しており、生活の技や、生活文化の大切さを教えてもらい、「支援する側」、「される側」という意識を持たず、お互いに協働しながら支え合う関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、3ヶ月毎にカンファレンス会議で見直し、本人が満足していく生活が出来るよう支援している。また、散歩や買い物、趣味への支援やドライブなど戸外にでかけたり、本人本位の生活が出来るように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすため日頃のかかわりの中で、思いや意見を聞き反映している。ケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、医師、看護師など必要な関係者と話し合い、介護計画を作成している。また、3ヶ月毎にカンファレンス、モニタリングを実施して見直しを行っている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、本人とご家族の要望を聞き、介護支援専門員の適切な監理のもと、担当職員を中心にカンファレンスやモニタリングを行い、プランの見直し、現状に即した新たな介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の要望に応じて、通院への支援や散歩、買い物など柔軟に支援を行っている。また、近隣の観光地へのドライブや理美容院への送迎など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、利用者それぞれのかかりつけ医との連携で気軽相談できる医師、看護師が確保されている。また、毎週、健康管理のための看護師の訪問、歯科、内科医の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方についての方針が明確化され、早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医、看護師等と話し合い職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応は行っていない。利用者の情報収集や外部との情報連携の際には、その情報の個人性や守秘義務について十分理解し、責任ある取り扱いと管理を徹底している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、調理や食事の準備、麻雀や囲碁などの趣味への支援等、本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と利用者が一緒になって調理や食事の準備、後片付けをしている。また献立メニューは、本人の希望や意見も取り入れ作成している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間を決めずに一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。週2～3回の入浴を勧めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら調理の準備や食後の後片づけ、歌唱や体操等気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、買い物や散歩、大沼公園や四季の森公園までのドライブなど、戸外に出かけるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で職員の認識を共有している。また、全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災避難訓練が定期的実施され、運営推進会議でも報告されている。また、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように救急救命の講習も行われている。</p>		<p>消防署の協力を得て、火災避難訓練が定期的実施されているが、今後さらに、近隣施設との連携を深め一時避難場所の確保の検討に期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>職員に栄養士がいて栄養バランスや摂取カロリーも考慮されている。また、具体的な食事摂取量・水分摂取量が把握されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間や居室では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、リビングでは利用者が集い、思い思いに談笑しながら過ごし、家庭的雰囲気味わえた。ウッドデッキでは日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、テレビなどの家電製品や仏壇やソファなど使い慣れた家具などが持ち込まれていたり、家族の写真も飾られ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。